

# 先端メディア(先端メディア アート&デザイン)

担当教員 八幡純和、岡山拓史

受講アトリエ [401] 修得単位：1単位

2022/1/13(木)-2022/2/3(木)

13:30-16:30

## 授業内容

ゲームやファッションの世界だけでなく現代の様々なカルチャーやサービス、イベントなどと連動して発展している「VR（バーチャルリアリティ）」の世界。そのVRの仕組みと特性を理解しながらバーチャル空間ならではの作品制作を個々に試みます。

## 授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	1月13日	木		実技カリキュラム	○	オリエンテーション	
2	1月20日	木		実技カリキュラム	○	指導日	
3	1月27日	木		実技カリキュラム	○	指導日	
4	2月3日	木		実技カリキュラム	○	講評	

## 学習目標

VRという技術とそこに連動して様々な新しい魅力を展開しているサービスへの理解。また先端技術を応用した作品制作への展開。

## 予習・準備物

自分が今までに制作した作品の画像データ。

3Dスキャン（フォトグラメトリ）用に、彫刻作品や身の回りの物など3Dデータにしたいものを考えておく。（ペットボトル大で、非透過素材、マットな質感が望ましい）

## 注意事項

技術指導が続くので欠席をしないこと。

## 評価方法

課題作品：70% 制作態度・積極性：30%

## 2年生 ファインアート科絵画造形専攻

## 主題研究

担当教員 工藤礼二郎、山本 晶、山口 藍、高橋輝夫

受講アトリエ【802】修得単位：7単位

2022/01/7(金)-2022/02/26(土)

9:30-12:40 13:30-16:30

## 授業内容

連作表現の各自の内容を指標に50号～100号前後の制作に取り組む。

就業体験（インターンシップ）をし、それをレポートにまとめて提出。（希望選択制）

## 授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	1月7日	金	○	オリエンテーション11:10～	○	ギャラリープリント講評会	工藤/高橋
2	1月8日	土		作家研究/制作/フランス語		作家研究/制作	
3	1月9日	日					
4	1月10日	月		成人の日			
5	1月11日	火		現代美術演習	○	作家研究/制作	工藤
6	1月12日	水		作家研究/制作	○	作家研究ゼミ	山本/山口
7	1月13日	木		作家研究/制作		先端メディア	
8	1月14日	金		作家研究/制作		作家研究/制作	
9	1月15日	土		作家研究/制作/フランス語		作家研究/制作	
10	1月16日	日					
11	1月17日	月		作家研究/制作		作家研究/制作	
12	1月18日	火		現代美術演習	○	作家研究/制作	工藤
13	1月19日	水		作家研究/制作	○	作家研究ゼミ	山本
14	1月20日	木		作家研究/制作		先端メディア	
15	1月21日	金		作家研究/制作	○	作家研究/制作	工藤
16	1月22日	土		作家研究/制作/フランス語		作家研究/制作	
17	1月23日	日					
18	1月24日	月		作家研究/制作		作家研究/制作	
19	1月25日	火		現代美術演習	○	作家研究/制作	工藤
20	1月26日	水		作家研究/制作	○	作家研究ゼミ	山本/山口
21	1月27日	木		作家研究/制作		先端メディア	
22	1月28日	金		作家研究/制作	○	作家研究/制作	工藤
23	1月29日	土		卒制審査			
24	1月30日	日					
25	1月31日	月		作家研究/制作	○	取材制作オリエンテーション	山本
26	2月1日	火		現代美術演習	○	取材/制作	工藤
27	2月2日	水		取材/制作	○	取材ゼミ	山本
28	2月3日	木		取材/制作		先端メディア	
29	2月4日	金		取材/制作	○	取材/制作	工藤
30	2月5日	土		3年次ガイダンス		取材/制作	
31	2月6日	日					
32	2月7日	月		取材/制作		取材/制作	
33	2月8日	火		取材/制作	○	取材/制作	工藤
34	2月9日	水		取材/制作	○	取材ゼミ	山本
35	2月10日	木		取材/制作		取材/制作	

36	2月11日	金	建国記念の日			
37	2月12日	土	取材／制作		就職セミナー	
38	2月13日	日				
39	2月14日	月	取材／制作		取材／制作	
40	2月15日	火	取材／制作	○	取材／制作	工藤
41	2月16日	水	取材／制作	○	取材ゼミ	山本
42	2月17日	木	取材／制作		取材／制作	
43	2月18日	金	取材／制作	○	取材／制作	工藤
44	2月19日	土	取材／制作		取材／制作	
45	2月20日	日				
46	2月21日	月	取材／制作	○	取材／制作	工藤
47	2月22日	火	取材／制作		取材／制作	
48	2月23日	水	天皇誕生日			
49	2月24日	木	取材／制作		取材／制作	
50	2月25日	金	取材／制作		取材／制作	
51	2月26日	土	取材／制作	○	最終講評	工藤／山本／山口

#### 学習目標

2年次の授業を総合的に判断し、また新たなアートシーンにも触れながら3年次へ向けた自らの主題を探る。

#### 予習・準備物

#### 注意事項

#### 評価方法

提出課題による採点

## 2年 ファインアート科絵画造形専攻

# 現代美術演習C

担当教員 船井美佐

受講アトリエ [501] 修得単位：1単位

2021/11/30(火)- 2022/02/01(火)

9：30-12：40

### 授業内容

日本絵画について、伝統的な様式や特色を、西洋絵画や古典・近現代と比較しながら歴史を学び知ること  
で、現代のまだ見ぬ新しい絵画表現について考えるための手掛かりとする。毎回、レクチャーの後に、実際の  
の画材や技法を体験しドローイングを制作する。またはテキストを提出。内容は、1、「絵の中」何をどう  
描くか？対象を2次元に表す方法について。(運筆、臨模) 2、「絵の表面」何を使って描くか？絵具や  
絵肌、支持体などの物質としての絵画のあり方の変化について。(和紙、岩絵具) 3、「絵の外側」どんな  
ところにどうやって展示するか？作品と人と空間の関係について。(表具、建築、庭園) 4、最後にそれま  
での授業の制作物で空間を構成し、各自インスタレーションとして発表する。

### 授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	11月30日	火	○	アーティストトーク-作品について		カリキュラム実習	
2	12月7日	火	○	レクチャーと実技-東洋古典技法		カリキュラム実習	
3	12月14日	火	○	レクチャーと実技-東洋古典技法		カリキュラム実習	
4	1月11日	火	○	レクチャーと実技-額と表具 建築 庭		カリキュラム実習	
5	1月18日	火	○	レクチャーと実技-近代化から現代		カリキュラム実習	
6	1月25日	火	○	レクチャーと実技		カリキュラム実習	
7	2月1日	火	○	発表		カリキュラム実習	

### 学習目標

古今東西の絵画にまつわる様式や表現の歴史について知り、日本の伝統的な絵画様式を体験する。日本絵画の遍歴や特質を知ること  
で、美術の歴史の延長線上にある現代の自分の位置について考える。今後、現代の自分だけの新しい表現様式を作っていくための基礎知識を  
培う。

### 予習・準備物

筆記用具。B3パネル（12月7日より使用するのでそれまでに準備。）。以降はその都度授業の中で連絡する。顔料など高価な物は学校で用意  
します。

### 注意事項

毎回事なるテーマや特殊な画材を扱い、順番に時代を追って体験していく内容となっているので、欠席の無いように。出席できない場合には参  
考図書を紹介するのでそれを読んでレポートを提出すること。進行状況に合わせて上記の日程と内容は前後することがあります。

### 評価方法

授業態度及び提出課題による採点

## 制作とステイトメント

担当教員 工藤礼二郎、高橋輝夫

受講アトリエ [802] 修得単位：3単位

2021/11/11(木)- 2021/12/17(金)

9:30-12:40 13:30-16:30

## 授業内容

各自が任意の一つのテーマに沿って、2～3点の連作を制作する。モチーフ、テーマ、描画方法などは自由。作品サイズは一点に尽き10号～20号とする。またそれらと並行してステイトメントの確立、ポートフォリオの制作を行う。年明け学内「ギャラリー・ブント」で展示、発表するという目標に向けて制作プロセスを立案、実行する。

## 授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	11月11日	木	○	オリエンテーション		制作	am工藤
2	11月12日	金	○	ステイトメント指導	○	個別面談・制作	am工藤 pm高橋
3	11月13日	土		自主制作/フランス語		制作	
4	11月14日	日					
5	11月15日	月		制作	○	ステイトメント/ポートフォリオ	pm工藤
6	11月16日	火		写真と美術		制作	
7	11月17日	水		制作		制作	
8	11月18日	木		制作		制作	
9	11月19日	金			○	個別面談・制作	pm高橋
10	11月20日	土		自主制作/フランス語		制作	
11	11月21日	日					
12	11月22日	月		制作		制作	
13	11月23日	火		勤労感謝の日			
14	11月24日	水		制作	○	ステイトメント/ポートフォリオ/制作	pm工藤
15	11月25日	木		制作		制作	
16	11月26日	金		制作	○	制作	pm高橋
17	11月27日	土		自主制作/フランス語		制作	
18	11月28日	日					
19	11月29日	月		制作		制作	
20	11月30日	火		現代美術演習C	○	ステイトメント/ポートフォリオ/制作	pm工藤
21	12月1日	水		制作		制作	
22	12月2日	木		制作	○	ステイトメント/ポートフォリオ/制作	pm工藤
23	12月3日	金		制作	○	制作	pm高橋
24	12月4日	土		自主制作/フランス語		制作	
25	12月5日	日					
26	12月6日	月		制作		制作	
27	12月7日	火		現代美術演習C	○	ステイトメント/ポートフォリオ/制作	pm工藤
28	12月8日	水		制作		制作	
29	12月9日	木		制作		制作	
30	12月10日	金		制作	○	制作	pm高橋
31	12月11日	土		研修ガイダンス		創形展講座	
32	12月12日	日					
33	12月13日	月		制作		デザイン8団体公開講座	
34	12月14日	火		現代美術演習C	○	ステイトメント/ポートフォリオ/制作	pm工藤
35	12月15日	水		制作		制作	
36	12月16日	木		制作		制作	
37	12月17日	金	○	ステイトメント/ポートフォリオ/制作	○	制作	am工藤 pm高橋

## 学習目標

制作と並行してポートフォリオとステイトメントの実践も行うことで、自らの方向性を簡潔かつ明確に、言葉と作品で明示する。

## 予習・準備物

支持体として活用できるもの。作品の題材となる図書など

## 注意事項

自分が選択したテーマおよび素材と向き合い、今後の制作活動にもつなげていけるような作品にするため、指導日には必ず話し合えるようにすること。

## 評価方法

提出課題による採点/講評会はギャラリー展示後の1月7日に行う。(AM展示・PM講評)

## 2年 ファインアート科 絵画造形専攻

## 抽象絵画考

担当教員 工藤礼二郎、高橋輝夫

受講アトリエ [802] 修得単位：3単位

2021/10/18(月)- 2021/11/10(水)

9:30-12:40 13:30-16:30

## 授業内容

20世紀初頭に誕生した抽象絵画という概念や形式はどのようなものなのか。またそれらは21世紀の現在においてどのように引き継がれるのであるか。概念的な思考の前にまずは抽象の様々なあり様を描くことを通して体験し、自らの表現として獲得しうるかを試みる。

## 授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	10月18日	月	○	オリエンテーション	○	色によるドローイング (音楽のイメージ)	指導工藤
2	10月19日	火		写真と美術	○	色によるドローイング (音楽のイメージ)	指導工藤
3	10月20日	水		色によるドローイング (音楽のイメージ)		色によるドローイング (音楽のイメージ)	
4	10月21日	木		色によるドローイング (今の気分)		色によるドローイング (今の気分)	
5	10月22日	金		色によるドローイング (今の気分)	○	色によるドローイング (イメージのないイメージ)	指導高橋
6	10月23日	土		色によるドローイング (イメージのないイメージ)		色によるドローイング (イメージのないイメージ)	
7	10月24日	日					
8	10月25日	月		色によるドローイング (イメージのないイメージ)		色によるドローイング (イメージのないイメージ)	
9	10月26日	火		写真と美術	○	中間講評	指導工藤
10	10月27日	水		水彩orアクリルor油彩によるタブロー制作	○	水彩orアクリルor油彩によるタブロー制作	指導工藤
11	10月28日	木		水彩orアクリルor油彩によるタブロー制作		水彩orアクリルor油彩によるタブロー制作	
12	10月29日	金		水彩orアクリルor油彩によるタブロー制作	○	水彩orアクリルor油彩によるタブロー制作	指導高橋
13	10月30日	土		自主制作/フランス語		就職セミナーB	
14	10月31日	日					
15	11月1日	月		水彩orアクリルor油彩によるタブロー制作		水彩orアクリルor油彩によるタブロー制作	
16	11月2日	火		写真と美術		水彩orアクリルor油彩によるタブロー制作	
17	11月3日	水		文化の日			
18	11月4日	木		水彩orアクリルor油彩によるタブロー制作		水彩orアクリルor油彩によるタブロー制作	
19	11月5日	金		水彩orアクリルor油彩によるタブロー制作	○	埼玉県立近代美術館見学	指導高橋
20	11月6日	土		インターンシップガイダンス		水彩orアクリルor油彩によるタブロー制作	
21	11月7日	日					
22	11月8日	月		水彩orアクリルor油彩によるタブロー制作	○	水彩orアクリルor油彩によるタブロー制作	指導工藤
23	11月9日	火		写真と美術	○	水彩orアクリルor油彩によるタブロー制作	指導工藤
24	11月10日	水		水彩orアクリルor油彩によるタブロー制作	○	講評会	指導工藤

## 学習目標

抽象絵画が難解で分かりづらい芸術であるという呪縛から解き放ち、表現手段の一選択肢として考慮できるようにする。

## 予習・準備物

マッチ絵の具・画用紙(学校準備/ドローイング用)、キャンバス、パネルなど随持準備(タブロー用)

## 注意事項

## 評価方法

提出課題による採点

## 2年 ファインアート科

# 写真と美術

担当教員 松蔭浩之

受講アトリエ [802] 修得単位：1単位

2021/10/05(火)- 2021/11/16(火)

9:30-12:40

### 授業内容

歴代写真家の作品を紹介し、読み解きながらの座学と、デジタルカメラの扱い方を指導しつつ、ワークショップ形式で制作を重ねる。

### 授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	10月5日	火	○	写真の誕生/カメラの仕組み		授業カリキュラム	
2	10月12日	火	○	デジタルカメラ入門1		授業カリキュラム	
3	10月19日	火	○	私の写真論1/カルティエ・ブレッソンを「読む」		授業カリキュラム	
4	10月26日	火	○	私の写真論2/WS「モノクロ・ユニバース」		授業カリキュラム	
5	11月2日	火	○	デジタルカメラ入門2/スティルライフ		授業カリキュラム	
6	11月9日	火	○	セルフポートレート/森村泰昌		授業カリキュラム	
7	11月16日	火	○	グループ展示/講習会		授業カリキュラム	

### 学習目標

写真の成り立ちから、構図や光の捉え方などを享受しつつ、「写真とはなにか？」を考察し、絵画制作に活用することを目標にする。

### 予習・準備物

カメラ（フィルム、デジタル問わず）。スマートフォンでも可

### 注意事項

### 評価方法

授業態度及び提出課題による採点

2年ファインアート科絵画造形専攻

# 絵画と物語

担当教員 山口 藍

受講アトリエ [802] 修得単位：3単位

2021/09/01(水)- 2021/10/16(土)

9：30-12：40 13：30-16：30

授業内容

描こうとする題材（テーマ）を任意の物語や散文などの一場面に設定し、それを絵画作品として表現するために最も適した支持体を選び（あるいは作り）制作する。作品を構成するあらゆる要素に意味を持たせたり、それを伝えたりできると意識することで、作品制作において色々な角度から思考し掘り下げていくことにつなげていく。

※キャンバス以外にも、あらゆる物に支持体の可能性を探ってみること。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	9月1日	水	○	オリエンテーション		自主制作	
2	9月2日	木		自主制作		自主制作	
3	9月3日	金		自主制作	○	制作指導	
4	9月4日	土		自主制作/フランス語		就職セミナー	
5	9月5日	日					
6	9月6日	月		自主制作		自主制作	
7	9月7日	火		現代美術演習B	○	制作指導	
8	9月8日	水		自主制作		自主制作	
9	9月9日	木		自主制作		自主制作	
10	9月10日	金		自主制作	○	制作指導	
11	9月11日	土		自主制作/フランス語		自主制作	
12	9月12日	日					
13	9月13日	月		自主制作		自主制作	
14	9月14日	火		現代美術演習B	○	制作指導	
15	9月15日	水		自主制作		自主制作	
16	9月16日	木		自主制作		自主制作	
17	9月17日	金		後期ガイダンス	○	制作指導	
18	9月18日	土		創立記念日振替			
19	9月19日	日					
20	9月20日	月		敬老の日			
21	9月21日	火		現代美術演習B	○	制作指導	
22	9月22日	水		自主制作		自主制作	
23	9月23日	木		秋分の日			
24	9月24日	金		自主制作		海外留学担当講座	
25	9月25日	土		自主制作/フランス語		自主制作	
26	9月26日	日					
27	9月27日	月		自主制作		自主制作	
28	9月28日	火		現代美術演習B	○	制作指導	
29	9月29日	水		自主制作		自主制作	
30	9月30日	木		自主制作		自主制作	
31	10月1日	金		自主制作		海外留学担当講座	
32	10月2日	土		合同講評会			
33	10月3日	日					
34	10月4日	月		自主制作		自主制作	
35	10月5日	火		写真と美術	○	制作指導	
36	10月6日	水		自主制作		自主制作	
37	10月7日	木		自主制作		自主制作	
38	10月8日	金		自主制作	○	制作指導	



39	10月9日	土	自主制作／フランス語		同窓会講座	
40	10月10日	日				
41	10月11日	月	自主制作		自主制作	
42	10月12日	火	写真と美術	○	制作指導	
43	10月13日	水	自主制作		自主制作	
44	10月14日	木	自主制作		自主制作	
45	10月15日	金	自主制作		自主制作	
46	10月16日	土	自主制作／フランス語	○	講評会	

### 学習目標

支持体と描画の関係性

平面絵画において、特に支持体が作品の内容にもたらす影響を改めて考え、実際の制作を通して描画との相互の関係性を探る。

### 予習・準備物

作品の題材となる図書など初日までに用意しておくこと。また、普段からキャンパス以外め支持体として使用してみたいものを考えておくこと。

### 注意事項

自分が選択した題材および素材に真摯に向き合い、今後の制作活動にもつなげていけるような作品にするため、指導日には必ず話し合えるようにしましょう。

※ 状況により講評がzoomになる場合、可能な限り前日までに学校に課題を提出しておいてください。(課題内容の性質上、質感なども含め講評するため)

### 評価方法

課題提出による採点

# ドローイング

担当教員 山本晶、工藤礼二郎

受講アトリエ [802] 単位修得： 単位

2021/6/28(月)-2021/7/17(土)

9:30-12:40 13:30-16:30

## 授業内容

「7日間の色と形」「7日間の身体性」「自分の表現とは？」を1週間ごとに様々な手法でドローイング。イメージの展開や絵画としての多様な造形要素とはどういうものか実践をとおして探る。最終的に出来上がったたくさんのドローイングを自分で編集。ドローイングブックにして綴じ、作品として自立しうるかを検証する。

## 授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	6月28日	月		日本語	○	オリエンテーション/造形要素のサンプリング①	指導/工藤・山本
2	6月29日	火		現代美術演習B		自主制作	
3	6月30日	水		造形要素のサンプリング②③	○	造形要素のサンプリング④	指導/山本
4	7月1日	木		絵画概論		造形要素のサンプリング⑤	
5	7月2日	金		自主制作	○	造形要素のサンプリング⑥	指導/工藤・山本
6	7月3日	土		自主制作/フランス語		造形要素のサンプリング⑦	
7	7月4日	日					
8	7月5日	月		総合的ドローイング制作	○	総合的ドローイング制作	指導/工藤
9	7月6日	火		現代美術演習B		自主制作	
10	7月7日	水		総合的ドローイング制作		総合的ドローイング制作	
11	7月8日	木		絵画概論	○	総合的ドローイング制作	指導/山本
12	7月9日	金		自主制作		総合的ドローイング制作	指導/工藤
13	7月10日	土		自主制作/フランス語		就職セミナー	
14	7月11日	日					
15	7月12日	月		自主制作		自主制作	
16	7月13日	火		現代美術演習B		自主制作	
17	7月14日	水		自主制作		自主制作	指導/工藤
18	7月15日	木		絵画概論		自主制作	
19	7月16日	金		自主制作		自主制作	
20	7月17日	土		合同講評ガイダンス	○	講評	指導/山本

## 学習目標

絵画に対する視野を広げ、その多様性と可能性に触れることで、自らの表現世界をより豊かなものにする。

## 予習・準備物

様々な画材（授業内で説明します）

## 注意事項

## 評価方法

提出課題による採点

## 2年 ファインアート科

# 現代美術演習B

担当教員 黒瀬陽平

受講アトリエ [502] 修得単位： 単位

2021/6/22(火)-2021/9/28(火)

9:30-12:40

### 授業内容

現代美術への理解を深め、作品制作を進めてゆくために、講義と課題制作、セッション（課題作品についてのプレゼン、ディスカッション）、講評会を組み合わせたカリキュラムを組んでいます。課題制作とセッションを繰り返すことで、学生ひとりひとりの制作プロセスにコミットし、議論を積み重ねながら作品制作を進めてゆきます。講義では狭義の現代美術に限らず、サブカルチャーも含めた他ジャンル、他メディアの作品を数多く扱います。

### 授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	6月22日	火	○	オリエンテーション+講義①		実技カリキュラム	
2	6月29日	火	○	講義②+セッション①		実技カリキュラム	
3	7月6日	火	○	講義③+セッション②		実技カリキュラム	
4	7月13日	火	○	中間講評会		実技カリキュラム	
5	9月7日	火	○	講義④+セッション③		実技カリキュラム	
6	9月14日	火	○	講義⑤+セッション④		実技カリキュラム	
7	9月21日	火	○	講評会		実技カリキュラム	
8	9月28日	火	○	最終講義+総評		実技カリキュラム	

### 学習目標

カリキュラム全体を通して各自が制作テーマ、モチーフを発見し、自分なりの制作プロセスを組み立て、作品を完成させることを目標とします。講義では、個別の作品分析、事例分析を中心に進めますが、学生からの質問やリクエストに応じて内容は変化します。

### 予習・準備物

授業内でその都度指示する

### 注意事項

特になし

### 評価方法

授業態度及び提出課題による採点

## 物質と絵画

担当教員 伊藤泰雅

受講アトリエ [802] 単位修得： 単位

2021/5/31(月)-2021/6/25(金)

9:30-12:40 13:30-16:30

## 授業内容

主題について文章(言葉)と素描によりできるだけ明確にする。単色、有色の素描、コラージュによりエスキースを重ねる。予め作られた支持体25号エマルジョン地に下地を施す。物としての強度について意識しながら作品を制作する。

## 授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	5月31日	月		日本語	○	オリエンテーション	
2	6月1日	火		現代美術演習A現代美術演習A	○	デッサン/コラージュ指導	
3	6月2日	水		デッサン		デッサン	
4	6月3日	木		絵画概論絵画概論		デッサン/コラージュ	
5	6月4日	金		自主制作/日本語		デッサン/コラージュ	
6	6月5日	土		自主制作/フランス語	○	デッサン採点/下地作り	
7	6月6日	日					
8	6月7日	月		自主制作/日本語		エスキース/下地作り	
9	6月8日	火		現代美術演習A現代美術演習A	○	エスキース/下地作り	
10	6月9日	水	○	下地作り		エスキース/下地作り	
11	6月10日	木		絵画概論絵画概論		エスキース/下地作り	
12	6月11日	金		自主制作/日本語		自主制作/避難訓練避難訓練	
13	6月12日	土		自主制作/フランス語/日本語	○	エスキース採点/タブロー	
14	6月13日	日					
15	6月14日	月		自主制作/日本語	○	タブロー	
16	6月15日	火		現代美術演習A	○	タブロー	
17	6月16日	水		タブロー		タブロー	
18	6月17日	木		絵画概論		タブロー	
19	6月18日	金		自主制作/日本語		タブロー	
20	6月19日	土		自主制作/フランス語/日本語	○	タブロー	
21	6月20日	日					
22	6月21日	月		自主制作/日本語		タブロー	
23	6月22日	火		現代美術演習B	○	タブロー	
24	6月23日	水	○	タブロー		タブロー	
25	6月24日	木		絵画概論		タブロー	
26	6月25日	金		自主制作/日本語	○	講評会	

## 学習目標

主題を明確化し、素材と手法の選択の過程で、作家としての自覚とこだわりを喚起する。物質性、絵画性の両面から制作を見直し、完成度の高い作品を1点以上制作する。

## 予習・準備物

制作ノート(テーマ,モチーフを書き出しておく) モチーフ資料(描きたい物,写真,画像等)

## 注意事項

デッサン=木炭,鉛筆など 有色デッサン=水彩,パステルなど 制作=主にタブロー 採点日厳守

## 評価方法

デッサン,エスキース,タブローの三点を採点。理解度,完成度,作品の魅力から総合的に評価。

2年 ファインアート科 絵画造形専攻

# 絵画技法実習B(混合技法)

担当教員 安藤孝浩

受講アトリエ【501】 修得単位： 単位

2021/5/7(金)-2021/5/29(土)

9:30-12:40 13:30-16:30

授業内容

北方ルネサンスから20世紀のウィーン幻想派に至るまで、様々な絵画表現に用いられたテンペラと油彩による混合技法を中心に学ぶ。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考	
1	5月7日	金		日本語	○	オリエンテーション 下地塗り3層乾燥後に図版の写し	図版は予め学生が準備	
2	5月8日	土		フランス語/自主制作		自主制作		
3	5月9日	日						
4	5月10日	月		日本語/自主制作	○	地透層(インプリマトゥーラ) 白色浮出	卵テンペラ 溶油の調合 他	
5	5月11日	火		現代美術演習A	○	油絵の具1層目及び白色浮出		
6	5月12日	水	<b>2年研修旅行</b>					
7	5月13日	木						
8	5月14日	金		日本語/自主制作	○	油絵の具2層目及び白色浮出		
9	5月15日	土		フランス語/日本語/自主制作		自主制作		
10	5月16日	日						
11	5月17日	月		日本語/自主制作	○	制作指導		
12	5月18日	火		現代美術演習A	○	制作指導		
13	5月19日	水		自主制作		自主制作		
14	5月20日	木		絵画概論		自主制作		
15	5月21日	金		日本語/自主制作		自主制作		
16	5月22日	土		フランス語/日本語/自主制作		自主制作		
17	5月23日	日						
18	5月24日	月		日本語/自主制作	○	制作指導		
19	5月25日	火		現代美術演習A		自主制作		
20	5月26日	水		自主制作		自主制作		
21	5月27日	木		絵画概論		自主制作		
22	5月28日	金		日本語/自主制作		自主制作		
23	5月29日	土		フランス語/日本語/自主制作	○	講習会		

学習目標

ルネサンスから近代に至るまでの西洋絵画の主な油彩技法を習得することを目的とする。

予習・準備物

注意事項

評価方法

提出課題による採点

## 絵画概論

担当教員 早見 堯

受講アトリエ【502】 修得単位：1単位

2021/4/15(木)-2021/7/15(木)

11:10-12:40

### 授業内容

ベラスケスやデュシャン、岡本太郎・山田正亮や草間彌生などを通して絵画が成り立つ仕組みを知り、現代美術を中心にして古今東西の絵画を見ながら、それぞれの絵画がどういうふうになられ、どう見えるのかを一緒に考えていきます

### 授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月15日	木	○	オリエンテーション、「連想＝自分の言葉に置き換え」で絵画をわかる		実技カリキュラム	
2	4月22日	木	○	絵具の状態が色や形にどう変わっているのか、いないのかを見て絵画をわかる		実技カリキュラム	
3	5月20日	木	○	絵画はミディウム(絵具などの材料や技法)の多様性に合った数だけ表現がある		実技カリキュラム	
4	5月27日	木	○	絵画の問題群①モダニズム、アンチモダニズム、ポストモダニズム		実技カリキュラム	
5	6月3日	木	○	絵画の問題群②トランスモダニズム、ソーシャル・プラクティスとしての美術		実技カリキュラム	
6	6月10日	木	○	絵画の問題群③芸術の現実化と現実の芸術化の相剋を超えて		実技カリキュラム	
7	6月17日	木	○	絵画は物なのか？正面と斜め、平面体としての絵画		実技カリキュラム	
8	6月24日	木	○	絵画は光なのか？絵具という物質が光を生み出すとき		実技カリキュラム	
9	7月1日	木	○	絵画を周遊する①制作と見ることの現場から		実技カリキュラム	
10	7月8日	木	○	絵画を周遊する②制作と見ることの現場から		実技カリキュラム	
11	7月15日	木	○	絵画を周遊する③制作と見ることの現場から		実技カリキュラム	

### 学習目標

絵画は支持体や絵具などの物質でできている。物質に心はない。その物質が私たちの心を揺れ動かす。なぜ？心のない物質が感情表現できるのはどうしてなのか。絵画を見ながらこうした謎を考える糸口をつかみたい。

### 予習・準備物

予習；毎回のテーマとアーティストを確認して授業内容を予想してみよう。準備物；知りたい&わかりたいという情熱

### 注意事項

毎回最初に今週のニュースを提示します。描くことと見ることは相互交通だという気持ちで人が描いた絵画を見て自分が描くことにつなげていく

### 評価方法

①毎回の授業後の「今日わかったこと」一言短文作成 ②最後の「わたしにとって絵画とは」レポート作成

# 現代美術演習A

担当教員 山本 晶

受講アトリエ [802] 修得単位： 単位

2021/4/13(火)-2021/6/15(火)

9:30-12:40

## 授業内容

発想から表現へ、どのようなアプローチをすればいいのかを実践を通じて探ります。美術の様々な表現方法を分析しテーマに対してどのように実践をするか演習します。

## 授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月13日	火	○	オリエンテーション		実技カリキュラム	デッサン道具・画用紙（貸出し画板と同じ大きさを用意）・画板
2	4月20日	火	○	演習I：自己と表現		実技カリキュラム	1年次に制作した作品1点
3	5月11日	火	○	演習II：人の考え		実技カリキュラム	
4	5月18日	火	○	演習III-I：描かれるもの		実技カリキュラム	支持体になる物質・描画材
5	5月25日	火	○	演習IV：色について		実技カリキュラム	水彩絵具・複数の石膏像
6	6月1日	火	○	演習V：破壊と再構成の自画像		実技カリキュラム	雑誌・本・ポスター等持参
7	6月8日	火	○	演習VI：拡張する絵画		実技カリキュラム	水彩紙（B2）・画材・貸し出しカルトン
8	6月15日	火	○	講評		実技カリキュラム	

## 学習目標

より一層多様化する美術表現に対する理解力を身につける。

## 予習・準備物

オリエンテーション（初日）は自宅にある画材や道具を用意しておいてください。各授業の最後に次回準備するものをお伝えします。

## 注意事項

## 評価方法

制作姿勢・作品・出席による採点

## 2年 ファインアート科 絵画造形専攻

# 絵画技法実習(グリザイユ)

担当教員 工藤礼二郎

受講アトリエ【501】 修得単位：2単位

2021/4/12(月)-2021/4/26(月)

9:30-12:40 13:30-16:30

### 授業内容

北方ルネサンスから20世紀のウィーン幻想派に至るまで、様々な絵画表現に用いられたテンペラと油彩による混合技法(安藤)、及びルーベンスを中心としたバロック期の油彩によるグリザイユ(工藤)を中心に学ぶ。

### 授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月12日	月		日本語	○	ガイダンス・地塗り・撮影	
2	4月13日	火		現代美術演習A		地塗り・図版加工・図版決定	
3	4月14日	水		自主制作	○	支持体研磨・トレース・不透明層描画	
4	4月15日	木		絵画概論		不透明層描画	
5	4月16日	金		日本語/自主制作	○	キャンバス張り・膠引	
6	4月17日	土		フランス語2/自主制作	○	不透明層描画・確認・乾燥	
7	4月18日	日					
8	4月19日	月		日本語/自主制作	○	グラッシィ・描写	
9	4月20日	火		現代美術演習A		グラッシィ・描写	
10	4月21日	水		グラッシィ・描写	○	キャンバスエマルジョン塗布	PM2:00~
11	4月22日	木		絵画概論		グラッシィ・描写/キャンバス研磨	
12	4月23日	金		日本語/自主制作		グラッシィ・描写	
13	4月24日	土		フランス語2/自主制作		グラッシィ・描写	
14	4月25日	日					
15	4月26日	月		日本語/自主制作	○	片付け・講評	

### 学習目標

ルネサンスから近代に至るまでの西洋絵画の主な油彩技法を習得することを目的とする。

### 予習・準備物

スマートPhon、面相筆、平筆(小)

### 注意事項

### 評価方法

提出課題による採点